

【第1回進路希望調査の設問3：質問に対する回答（一部抜粋・改変）】

Q. やりたいことができる学科と、将来就きたい職業に必要な資格を自動的に取れる学科が違う時はどちらを選べば良いですか（一応、他学科生でも資格をとれるシステムはあります）。

Q. 大学でやりたいことを優先すべきか、その後の将来を優先すべきかを教えてください。

A. やりたいことを専門として学びながら、将来に繋がる勉強や必要な資格取得ができる、両立の道はないか調べてみましょう。大学は、頑張り次第で標準カリキュラム以外にも履修できるものがあります。ダブルスクールといって、大学に通いながら他の大学や専門学校の講義を履修する方法もあります。やりたい勉強を選択し、卒業後に資格取得のため短期間大学に入り直す人、大学院で資格取得を目指す人もいます。教員免許などは、大学のHPやパンフレットに載っていない教科も取れることがあります。それでも両立が難しい場合や、中途半端になりそうな場合は、どちらを諦めた場合に自分が後悔するか、代替案はないかという取捨選択になります。一概に答えるのは難しいので、一度相談に来てみてはどうでしょう。

Q. 国公立を受験する場合、他の国公立を滑り止めとして受けることは可能ですか

A. できません。国公立大学は、秋から始まる学校推薦型・総合型選抜、一般選抜（2/28の前期・3/8頃の中期・3/12の後期）の最大4回受験することができますが、合格して一時手続きを行うと他の国公立大の合否判定の対象から外れます。例外として、一部公立大学が実施する中期日程は、他の国公立大が実施する後期日程と併願でき、両方合格することも可能です。両方合格すれば、好きな方に入学することができます。ただし、中期日程は前期日程で不合格または合格手続きをしていない人が対象になります。

Q. 心理の勉強をした後、どのような進路に就こうか迷っている。

A. シビアな話ですが、心理学に限らず、専門性を生かした就職の選択肢が限られる学問分野はいくつも存在します。心理学の場合、臨床心理士やカウンセラーが思い浮かぶかもしれませんが、その道に進む人は多くはないようです。多くは、営業やマーケティングなど、顧客心理・消費者心理などの把握に少しだけ専門を生かせる程度の一般的な職種に就くと考えられます。「心理学」は高校生の興味をひきやすい学問分野ですが、思っていた内容と違うというケースが多く、よく内容を調べてから選択することをおすすめします。少なくとも、相手の気持ちが明快に理解できるようになる学問でないことは確かです。

Q. 海外の動物を保護するレンジャーは何学部ですか？またどうやったらなれますか？

A. 大学卒業後にいきなり海外の環境保護団体に入るより、様々な経歴を積んでから、その経験を生かしていく方が現実的な気がします。例えば、国家公務員試験に合格して環境省の自然保護官として就職する、WWFJapanのような民間団体に入る、あるいは青年海外協力隊に参加して経験を積むなどが考えられます。大学では、獣医学部・理学部生物学科・環境系学部などで、動物のこと・自然環境のこと・共生社会のことなどを学ぶのはどうでしょうか。国家公務員を目指すのならば、難関大を志望校とすることをおすすめします。

Q. 今の学力で第一志望が目指せるかを知りたい。

Q. 北大水産学部と、三重大の情報学部(工学)とで自分のレベルを見て迷っています

Q. 数学が苦手すぎるので、受験科目で数学を取らなくても済むところを志望したいです。

A. 「今の自分で行けるところ」を探す人にならないでください。「行きたいところに行ける自分」になろうとしてください。努力して、自分を成長させることを大前提として考えましょう。その上で、希望進路に手が届く自分になるにはどうすればよいかを考えてほしいです。特に1・2年生はここから取り組み次第で大幅に成長しますよ。そのお手伝いをさせてください。そうでないと、将来、どこにも存在しない「今のままの自分に合う満足のいく仕事や職場」を探そうとして、出口のない不満のトンネルに入ってしまうかねません。

Q. 国公立に行こうと思ったらどれほどの学力が必要か？

A. 大学によって大きく違うのは当然として、大まかな基準でいうと、地方国公立で進研模試のGTZが「B1」以上、難関国公立で「A1」以上が一つの目安になります。逆にこれを下回ると本校卒業生の分析から大きく合格率が下がることが分かっています。全教科をB1以上、得意科目はA～Sに達すると、可能性のある大学が増えます。頑張ってください！

Q. 外国語大学と外国語学部はどのように違うのですか

A. 外国語大学も中身は外国語学部であることが多く、学習内容に大きな差はないと考えられます。ただ、前者はいわゆる「単科大学」で、基本的に学内には外国語学部の学生しかいません。一方、複数の学部を有する「総合大学」の外国語学部では、他学部の学生との交流の機会が授業内外ともに多くなります。他にも、京都工芸繊維大学や京都薬科大学などが単科大学にあたります。

Q. 推薦までの流れがあまりわかっていないのですが、いつ動き始めたらいいですか

Q. 総合型選抜の受験を考えていますが、どのくらいからどのような準備をすればいいのかわかるか。

Q. 特色入試も視野に入りたいのですが、今のうちにしておくとう利になることはありますか。

A. 国公立・私立とも、3年の夏に志望理由書を書き、夏休み明けに校内の説明会に参加し、9～1月の大学が指定した時期に出願し、受験するという流れになります。指定校等のリストも夏明けに提示されます。現在、学校推薦型と総合型の選抜は非常に多様化しています。出願期間も入試時期もバラバラのため、気になる大学については、早期に「学生募集要項」を検索して確認しましょう。準備に関しては、2年生の間に「明確で具体的な志望理由」「大学卒業後の将来像」を自分の中に明確化することが必要です。そして、今のうちに様々な体験プログラムや資格試験、調べ学習などに意欲的にチャレンジしましょう。直接将来に関連しないものでも構いません。多様な経験と積極的な態度の伸長は必ず自らの力になります。

Q. 体育系と迷っている

Q. 部活をどのレベルで頑張るか迷っている

A. 競技と、将来との間での悩みは難しいですね。今と引退後では考えが違っても構いません。競技者は欲張りなので、どこまで行っても「満足」するのは難しく、どこかで「やり切った」と自分を納得させる必要があるでしょう。中途半端に大学で興味のない勉強をするくらいなら、「やり切る」選択も人として成長できるでしょう。自らの専門性を学問として高め、普及する立場にも意義がある。将来を意識し一般学部に進むにしても、強い決意が必要です。